

終助詞化した「し」

栗原 さ よ 子

[キーワード：①終助詞 ②多機能性の発達 ③意味論的特徴の喪失 ④若者ことば]

1. はじめに

助詞「し」は、節と節をつなぐ接続助詞として機能し、一般に並列用法と理由用法があるとされる（用例（1）、（2）^{#1}）。この二つの用法を巡っては、すでにかなり議論が積み重ねられている^{#2}。

（1）あの店は安いし、うまい。（並列用法）

（2）もう遅いし、これで失礼します。（理由用法）

ところが、最近、若年層を中心に従来の接続助詞ではなく、新しい意味・機能を担った「し」が観察される。統語的には接続助詞ではなく、終助詞として振る舞う。（3）～（6）のような例が典型的に見られるものである（前後の文脈は、本文の後の〈例文のテキスト〉を見られたい）。

（3）私、壁に穴あけちゃったし…!!

（4）オバチャン天使（天使にしちゃったし）に助けてもらった、今夜の我が家は茄子並びに他の野菜たっぷり、ひき肉も買い置きがあったので、「夏野菜のカレー」に決定。

（5）鍵の先曲がってるし…

（6）ってか、それよりも電話が鳴っちゃうし～～～！

このような「し」を「終助詞化した「し」」と呼ぶことにする。

終助詞化した「し」は、テレビ、雑誌等マスメディアやインターネット上の音声言語・文字言語に広く観察されることから地域的なもの、限定的な集団の言語変種とは思われない^{#3}。いずれにせよ終助詞化した「し」は、その時々の新語や流行語と異なり、文法構造そのものに関わる変化である。その点を踏まえ、今後の使用実態を注視していきたいところである^{#4}。

終助詞化した「し」は、述べた内容に関わる話し手の心理的内容を推論させるところ（伝達態度）に特徴がある。聞き手への働きかけが希薄であり、独話性がある。

終助詞化した「し」は、接続助詞「し」の機能が連続的に拡張しており、接続助詞か

ら終助詞へという文法化現象としても捉えることできる。但し、「脱語彙化」する典型的な文法化ではなく、もともと機能語であるものが多機能化する（「多機能性の発達」）周辺のケース（大堀（2002：186f.））である。接続助詞「し」が並列機能・因果関係を表す機能を喪失し、同時に統括命題を伴わなくなった結果、意味論的特徴がなくなったことで終助詞化したと考えられる。

本稿の構成は、2. で終助詞化した「し」の統語的特徴を確認した後、3. でその意味面での特徴を検討する。4. で多機能性の発達の観点から終助詞化した「し」が文法化の一つに位置づけられることを述べる。5. でまとめを行う。

2. 終助詞化した「し」の統語的特徴

はじめに、新しい意味・機能の観察された「し」が統語的に接続助詞ではなく、終助詞として機能することを確認する。

終助詞化した「し」は、他の終助詞と原則的に置換可能だが、接続助詞「し」は、他のいずれの終助詞とも置換できない。

(7) 私、壁に穴あけちゃった し／よ／ぞ／ぜ／な／さ／ね…!! (用例(3)再録)

(7) の「し」は、統語的には他のどの終助詞とも置き換え可能である。もともと、それぞれに前提となる場面・状況、話者の聞き手に対する伝達の態度は異なる。このように他の典型的な終助詞と置き換えられうることは、「し」が終助詞と同等に機能しうることを示している。

一方、接続助詞「し」は、上述のように置き換えられない。

(8) 部屋が散らかってるし、お通しするわけにいかない。(理由用法)

(9) 部屋が散らかってる *よ／*ぞ／*ぜ／*な／*さ／*ね、お通しするわけに
いかない。

(10) 部屋は、狭いし、汚い。(並列用法)

(11) 部屋は、狭い *よ／*ぞ／*ぜ／*な／*さ／*ね、汚い。

そもそも、接続の機能がないう終助詞では、いずれも置き換えが不可能である。

接続助詞の「し」には、この他に「言いさし」用法あるいは「終助詞的用法」といわれる(12)、(13)のような用法がある。

(12) もう、からだの方もよくなりましたし……。 (国立国語研究所 (1951))

(13) ハンドバッグもいいけれどこれでまだ間に合うし……。 (上掲書)

国立国語研究所(1951)によれば、言いさしは、「後続すべき立論を控えめに言外に響かせる」「終助詞的用法」であるという。前田(2005)では、その立論が倒置され、「言いさし用法が派生したと考え」る。

(14) あのレストラン、一緒に行こうよ。料理もおいしいし。(前田(2005))

本稿では、(14)のような明らかな従属節の倒置とみられる形式は接続助詞「し」の

(3)

「倒置用法」とみなし、次の(15)のような主文が明示的でない場合を「言いさし用法」と呼んでおく。

(15) あのレストランにしない？

そうねえ。料理もおいしいし。(あそこに決めましょう。)

「し」の言いさし用法は終助詞的用法とする場合があるが(国立国語研究所(1951:58-59))、本稿では、これはその後続けるべき論理的関係にある内容の後件が推論可能であるという意味で、典型的な終助詞ではないと考えたい。「し」の言いさし用法は、

(16) 実用的だが、デザインが良くない。〔接続助詞(逆接用法)〕

(17) 明日、行きたいのだが…(来客があって行けない)。〔言いよどみ〕

(18) 実用的だし、デザインもいい。〔接続助詞(並列用法)〕

(19) 明日も忙しいし…(予定が組めない)。〔言い差し〕

言いよどみや言いさしには、語用論的に心理的態度が解釈される場合が多い。

(20) 明日、行きたいのだが…(来客があるので、別の日がいいんです。)

(21) 明日も忙しいし…(予定が組めないので、困った／どうしたらいいだろう。)

下線部が語用論的に解釈される内容の例である。このような言いさし用法・倒置用法と異なり、本稿が取り上げる用例(3)～(6)のような終助詞化した「し」は、論理的関係にある内容の主文を推論できない、つまり聞き手に対する伝達態度に関わる内容のみが推論され、典型的な終助詞として機能する。

3. 終助詞化した「し」の諸特徴

一般に終助詞と認められる「よ」、「ぞ」、「ぜ」、「わ」、「さ」、「ね(え)」、「な(あ)」などの共通した特徴は、文内容に関わらず、発話場面における伝達態度を表しているという点にある。終助詞化した「し」も何らかの伝達態度を表していると考えられる。そこで以下では、データを用いて終助詞化した「し」の特徴を抽出し、伝達機能に関わる手がかりを捉える。

3. 1 終助詞化した「し」が現れる文章の特徴

本稿では、データとしてブログの検索によってみいだした実例を用いる。ブログ(ウェブブログの略)というのは、「日記風にかかれた個人のホームページのこと」(梅田(2006))である。

文章の特徴⁴⁵や内容を見ると、ある程度、年齢層や性別、その人の個人的特徴を推測できる。終助詞化した「し」がみられる文章は何らかの程度若年層特有の「若者ことば」⁴⁶が用いられていること、取り上げる話題や内容が若者の属性を反映していると考えられることから、書き手は若年層であることが想定できる。結婚している人や子育て

中の人もいることから20歳代の人を中心に少なくとも男女ともに終助詞化した「し」を用いているようだ。

ブログは文章であるので、不特定多数の人を読み手とする一方向性対話である。そのため、直接的な双方向性対話を前提とすることの多い終助詞研究を踏まえる場合、問題が残るが、対話における筆者の直接経験による事例を踏まえると、対話形式を超えた共通の機能はあるものと予測される。対話における終助詞化した「し」の調査は今後の課題である。

3. 2 終助詞化した「し」が接続する文の類型

終助詞化した「し」が続く文の類型をモダリティ形式をもとに概観すると以下のとおりである。

- ① 叙述系のモダリティ形式につき、実行系（意志・命令など）のモダリティにはつかない。ただし、叙述系のうち「だろう」にはつきにくいようである。
- ② 疑問のモダリティにはつかない。
- ③ 名詞句に続くときは「だ」を介す。
- ④ デス・マス体にはつかない。

① 以下は、叙述系モダリティ形式につく例である。

- (22) しょんがハンバーグとかマジ萌えるし。〔認識のモダリティ〕
(<http://blog.livedoor.jp/chichabi/archives/50981335.html> / 2008.6.9)
- (23) 自分の目でしっかり見えたし。〔認識のモダリティ〕
(<http://goldreal.blog100.fc2.com/blog-entry-625.html> / 2008.7.18)
- (24) 面白いもの見つかるといいし。〔評価のモダリティ〕
(<http://ameblo.jp/asami0801/entry-10110698897.html> / 2008.6.28 (2008.8.16))
- (25) ていうか馬殴りシーンはみんな見るべきだし。〔評価のモダリティ〕
(<http://d.hatena.ne.jp/soulfire/20080812/1218518765/> / 2008.8.12 (2008.8.19))
- (26) 今日、海に行った人は美味しかったはずだし。〔評価のモダリティ〕
(<http://wave.ap.teacup.com/brush/1255.html> / 2008.8.18 (2008.8.19))
- (27) こんなに簡単にエネルギーが分け与えられるものなら、20年前に持ってきてやれよ！ と思うし。〔評価のモダリティ〕
(<http://d.hatena.ne.jp/chd/20080426/> / 2008.4.26 (2008.8.22))
- (28) *? そんなの、俺はしないだろうし！ (実例「っそんなの、俺はしないし！」)
(<http://www18.oekakibbs.com/bbs/chashi1/oekakibbs.cgi> / 2008/6/16 (2008.8.16)) から改変)

実行系のモダリティ形式にはつかない傾向が顕著である。命令、依頼、禁止や勧誘を表

(5)

すモダリティにつく用例は、見出されていない。

(29) *立てし! (命令) / *立つなし! (禁止) / *立とうし! (勧誘)

(30) *起きろし! (命令) / *起きるなし! (禁止) / *起きようし! (勧誘)

②疑問のモダリティ(「か」)にはつかない。

(31) *面白いもの見つかるかし。

③名詞句につくときは「だ」を介す。

(32) 明らかに、何か企んでるカオだし……(; ㄥ A

(http://blog.livedoor.jp/before_sunrise_say/archives/51201170.html /2008.9.4)

①~③の特徴は、終助詞「わ」に同類であり、「ぞ」にもかなり近い。独話性のあるこれら「わ」と「ぞ」に共通性があることは注目すべき点である。

④デス・マス体につく例が見いだされない。「わ」「ぞ」には「ですわ/ぞ」「ますわ/ぞ」の形式がある。ただし「ぞ」は意味的に異なるので、「し」と必ずしも互換性はない。

(33) * ?面白いものみつかるといいですし。

(34) 面白いものみつかるといいですわ。(「ぞ」は意味的に不適格)

(35) * ?鍵の先曲がってますし。

(36) 鍵の先曲がってます わ/ぞ。

実例をみると話し手が把握した外界の事実を述べる文につく場合が多く、感情や評価といった話し手の心理的内容を述べる文もある。これらは、何らかの感情表出(意外さ、あきれ、焦り、驚き、啞然さなど)を推論させる場合がほとんどである。以下は、その例である。

1) 予想外の事態の発見

(37) 鍵の先曲がってるし…(用例(5))

(38) ゲーツ、1点先制されちゃってるし…。

(<http://ew335.exblog.jp/7205950/> /2008.6.21)

2) 意外性のある事態の報告

(39) 私、壁に穴あけちゃったし…!!

(40) Perfect Future ツアー、3つ行っちゃったし。

(<http://ameblo.jp/9live/entry-101117465058.html> /2008.7.18)

3) 話し手の感情・評価の叙述

(41) またお家でミカと二人っきりなんてそんなの聞いてないし! 萌えるし!

(<http://d.hatena.ne.jp/aoingn/20080222/1203610067/> /2008.6.22)

(42) ヤバい!!! やっぱこれおもしろいし~((* ㄥ`))

(<http://yaplog.jp/ichigorira-net/archive/92/> /2008.3.12 (2008.8.16))

(43) 面白いもの見つかるといいし∞

(44) 怖いもの見たさとはまさしくこの作品だし。

(<http://yaplog.jp/ichigorira-net/archive/92/2008.3.12> (2008.8.16))

これらは、「ね」「よ」といった聞き手への働きかけの度合いが強い終助詞が表す意味に比較して、聞き手への働きかけは極めて希薄なようである。感情をその場で表出し、自己完結的に述べられている。聞き手意識が希薄だったり、時として独り言をいっている(独話)ようにも感じられることがある²⁷。このことは、デス・マス体で用いられる例がまだ見出されないこととも関係していよう。

ただし、終助詞化した「し」を使用できる聞き手が終助詞化した「し」の文をどのように意識するかは今後、アンケートなどによる調査が必要である。

4. 終助詞化した「し」と文法化

若年層の間に広がっている終助詞化した「し」を文法化現象と捉え、接続助詞から終助詞への意味変化のプロセスを考える。接続助詞の終助詞への意味変化が中断節(言いさし用法)としての「し」の意味論的特徴の喪失としても捉えることができることを述べ、並列機能が喪失した実例を示す。また因果関係を表す機能も喪失していることを述べる。文法化の動機付けについて文・連文の特徴から考察する。

4. 1 多機能性の発達としての終助詞化した「し」

若者ことばとして拡がりつつある終助詞化した「し」を文法化の側面からみるとどうであろうか。文法化は、「一般的に言って、開かれたクラスの語彙項目が閉じられたクラスの文法的要素に変化する過程を言う」(秋元実治(2001:1))。ところで、大堀(2002)は、開かれたクラスから閉じられたクラスへの変化のみならず、その周辺的ケースとして「多機能性の発達」も文法化の対象となるとしている。多機能性とは「もともと文法形式であったものがさらに拡張されて異なる機能をにうようになるプロセス」(大堀(2002:186))である。さらに文末表現について大堀(2002:186)は、「文法のほかの部分との相互作用に乏しいために文法化の枠内に入れられないこともある」が、「会話体では対人機能や談話構成のために多くの手段が動員されており、その中でも文末表現はある程度まで閉じたクラスをなすこと、音韻の縮約があること、語用論的機能を獲得すること、などの特徴から広義の文法化に含めてよい」と述べている。本節では、「し」の終助詞化を多機能性の発達として考察する。

4. 2 中断節の意味論的特徴の喪失 ～言いさし用法の「し」から終助詞化した「し」へ～

終助詞化した「し」は言いさし用法により「し」が文末位置という条件を備えたことで意味変化が起こったと考えられる。

(7)

Ohori (2000)、大堀 (2002) では、言いさし用法を「中断節構文」のひとつと位置づけて「私もいい歳ですし」のような「し」の考察を行っている。大堀 (2002: 127-131) は、中断節として用いられる「し」は、「並列」ではなく、「理由」という解釈であり、聞き手の推論を求める方向へ解釈が限定されるとする。すなわち中断節構文は一般に意味論的特徴 (ここでは「理由」) が「推論集約的」(inference-intensive)⁸³ であり語用論的特徴が「対人機能」(interpersonal) であると考えられる。中断節構文が理由の解釈をとるプロセスを大堀 (2002: 196) は、以下のように図式化している (用例、四角囲い、太字及び改行は栗原による)。

(45)

P—し、Q (P—並列—Q) →

〔私もいい歳ですし、後輩も育ってきました。〕

P—し、Q (P—並列／理由—Q) →

〔私もいい歳ですし、そろそろ引退しようと思います。〕

P—し、φ (P—理由—φ)

〔私もいい歳ですし…。〕

「P—し、Q」の形式では、「並列」ないし「理由」の意味があるが、中断節の「P—し、φ」では、推論集約的な「理由」の意味のみ解釈可能である。ところで、終助詞化した「し」は、中断節としての「し」とは異なり、さらに多機能性が発達したものとみることができる。終助詞化した「し」は、この「理由」の意味がなく、意味論的特徴そのものを喪失しているからである。この意味で終助詞化した「し」は、大堀が中断節と位置づける言いさし用法とは異なるのである。

大堀は「し」の中断節における対人機能については明らかにしていないが、具体的には、例えば「(理由を) 分かってほしい」というような聞き手への穏やかな懇願とでもいった働きかけということになろう。

(46) 私もいい歳ですし、そろそろ引退しようと思いますので、それを許してください。

波線は意味論的特徴 (「理由」) に起因する主文の例であり、実線は主文、副文全体から推論される語用論的内容の例である。

一方、終助詞化した「し」は、最後の過程の「P—し、φ」における「理由」という意味論的特徴を喪失したために、意味論的な特徴に起因する主文がなく (推論不可能)、伝達機能だけがあるのである。意味論的な特徴による制約がなくなるため、終助詞化した「し」は、新たな伝達機能を獲得したと考えることが可能である。

(47) 鍵の先曲がってるし… (どうなってんの? / どうしよう! 等)

(47) では、鍵の先が曲がっていることを理由に因果関係のある事態を推論することができない。事態それ自体を確認することによって話し手は状況から疑問や緊急性を感じ

じるに違いない。そのことによる焦りといった心理内容が推論される。つまり、言いさし用法からさらに多機能化が進んだのが終助詞化した「し」と考えられるであろう。

以下では、具体的に終助詞化した「し」の実例をみていく。

4. 3 終助詞化した「し」の並列機能の喪失

終助詞化した「し」は接続助詞「し」に本質的と考えられる並列機能も因果関係（主として「理由」）を表す機能も失っている⁸⁹。

まず並列機能について (48)、(49) をみると、「も」は理由用法の「し」にしばしば共起する助詞であるが、それを「が」にするとやや不自然だと思われる。他にも理由があるということ「し」が表しているからである。

(48) あのレストラン、一緒に行こうよ。料理もおいしいし。

(49) ?あのレストラン、一緒に行こうよ。料理がおいしいし。

しかし、(50) (51) の終助詞化した「し」では、ただ一つの事柄のみを叙述し、場面的にそれ以上の事柄を想定できないので、「も」を用いると明らかに語用論的に非文となる。「し」が並列機能を喪失したかたちで用いられているのである。

(50) 鍵の先曲がってるし… (用例 (5))

(51) #鍵の先も曲がっているし…

ところで、接続助詞「し」では「～し、～。」あるいは「～し、～し (、～)。」の文形式が典型的だが、終助詞化した「し」では、「～。(しかも)～し。」という後続文にのみ「し」が現れる連文形式が目立つことが注目される。

(52) んで台所片付けて待ってたんだけど寝ちゃった。しかも今起きちゃったし。

(http://yaplog.jp/angel_6g/archive/3326/2008.7.7)

(53) 夜中にこっそり知り合いの家に行って、庭中にトイレトーパーぶっかけるんです。(中略)そしてそれをやったら必ずしばらくして逆襲に遭うし(笑)

(<http://yaplog.jp/tengai-banri/archive/966/2008.6.28>)

(52) の「し」の場合、並列機能はない。「今起きた」こと以外に推論可能な事柄がないからである。注意したいのは「しかも」「そして」という表現から明らかなように付加的情報を一つ追加的に述べていることである。接続助詞の並列機能と関連した用法として、「情報の付加」とでもいうべき用法が少なからずみられる。

また、二つの事柄を「～し、～し」という形式で並べていても、本来の並列ではなくなっている場合もある。

(54) うわあー今バイト終わったー。お腹空きすぎて肉まんしちゃったしー。それでもまだお腹空いてるしー。

(<http://awtiq4q8v.blog34.fc2.com/blog-entry-1226.html/2008.7.7>)

これは、二つの文(節)が対等・対立的に並列されているとは捉えにくい。並立節は、

(9)

本来、話者の主体的な判断によって対等・対立的な事柄を並べるのであるが、肉まんを食べた事実とそれによって引き起こされた結果、まだお腹が空いていることは、時間的推移を伴う関係にあり、対等・対立的な事柄を主観的に並列したとはみなせない。(54)の「お腹空きすぎて肉まんしちゃったしー」の「し」は、もはや「し」が接続助詞としての並列機能を失いつつある例といえよう。付言すれば、「それでもまだお腹空いてるしー」の方の「し」は、それ以上の事柄を推論できない点で完全に並列機能を喪失している。

また、終助詞化した「し」は、接続助詞「し」が用いられる際の統括命題（寺村（1984：71）「複数の節を統括する…命題」）が存在しない。並列機能を喪失するということは、「し」の場合、統括命題をも喪失することを意味する。ある主張したい命題があり、その理由・根拠や結果を具体的に並べることで主張を補強するという役割が「し」の理由用法の姿であるとするれば、並列機能そのものがないということが統括命題の存在にも影響するのであろう。さらに統括命題がなければ、接続助詞「から」に置き換えられるような因果関係を示す機能もないことになる。

4. 4 動機付け

助詞「し」が接続助詞の言いさし用法・倒置用法から終助詞へと変化する動機付けは何だろうか。大堀（2002：195）は「モグリティや条件文といった、推論との結びつきの強い構文の発達を論じる上で有効な概念」として語用論的強化を挙げている。その上で、すでにみた中断節を例に挙げているが、終助詞化に関しても、そのことが予測される。

終助詞化した「し」の動機付けが話し言葉から生じたのか、ブログやメールといった書き言葉から生じたのかは明らかでないが、ブログの文・連文の特徴を動機付けと関連付けて観察した結果、以下のような点がみられた。

①意味的に複文であって本来中断しないところで頻繁に「し」で文を終止する傾向がある。通常「～し、～し」となるところ「～し。～し。」とする。このことにより、「し」が文末化したように感じられ、位置的な条件から伝達態度の意味が語用論的に解釈される可能性が高まる。句点部分は他の記号であることも多い。「！」など感情を表す記号の場合、それが「し」に続くことで、感情的な意味が語用論的に解釈される可能性がさらに促進される。(55)、(56)の例は、「し」の後の記号及び改行によって文脈がそこで切れるのか、あるいは後続文に続くのか曖昧になり、終助詞化しているようでもあり、後続文につながり、理由用法ともとれる例である。

(55) その後に～

恋バナしまくった!!!! 笑

みんなも一全部喋ったよ ww

腹あくくった

3年の女子の先輩たちめっちゃ相談したし (^▽^)

ぜ〜んぶ話したよ

もちろん

みんなね www

(<http://tenis77.blog103.fc2.com/blog-entry-599.html> / 2008.6.11)

- (56) ソプラノはいいけど、アルトは男子ほとんど声小さい!! って言うか声出せー!! っていっても無理!! テノールは途中で細胞分裂しちゃってる!! だって、テノールのパートが2つに分かれちゃってるし!! うわあーツツこのままじゃホントにビリになっちゃうよ〜

(<http://miyarin.jugem.jp/?eid=30> / 2008.7.3)

このような曖昧性が解釈の傾きを生み語用論的強化によって意味変化を引き起こしている可能性もある。

②接続助詞用法の可能性がある場合でも「距離」があり、文脈がとりにくくなることがある。「距離」とは直接、前件と後件が続くのではなく、その間に挿入的に文が入ることをいう。挿入文によって、前件と後件の文脈の独立性が高まり、並列や因果関係が解釈されづらくなる。

- (57) 今日から群馬のゆみちゃんち泊。しんちゃんや志村の録画分をずーっと見せられて頭がわんわんする。いずれもうちでは放送禁止だった番組です。田舎で電波が悪く、ハードディスクなのに伸びきったVHSみたいだし!

(<http://mallow71.blog106.fc2.com/blog-entry-433.html> / 2008.8.7 (2008.8.20))

(57) で、「いずれもうちでは放送禁止だった番組です。」があることで、「田舎で電波が悪く、ハードディスクなのに伸びきったVHSみたいだし (から)、しんちゃんや志村の録画分をずーっと見せられて頭がわんわんする」という解釈が可能であるにもかかわらず、そのような解釈がしにくくなる。もっとも「みたいだし!」の「し」は終助詞化しているのかもしれない曖昧例である。

以上のような特徴から考えて、文章の上では語用論的強化によって終助詞化したことも予測できると思われる。また、話し言葉であっても、もともと接続助詞「し」の表す条件的論理関係(理由用法)や並列される事態の内容は、特に日常の会話では曖昧性を含みうることを考えると、曖昧性が一因となっていることも考えられよう。これらのことは今後考察を進めていきたい。

5. まとめと今後の課題

終助詞化した「し」は、若年層を中心に広がりつつある助詞である。客観的事態や話し手自身の感情・評価を内容とする叙述文について、何らかの伝達機能を果たしている

と考えられる。驚きや嬉しさ、焦りといった心理的内容を推論させ、独話的であったり、聞き手意識が希薄だったりするのが特徴である。

終助詞化した「し」は、文文化の観点から多機能性の発達の一例として位置づけられる。接続助詞の言いさし用法の「し」が文末位置にあることから、意味論の特徴が喪失し、そのことにより新たな対人機能（伝達機能）が生じたと考えられる。動機付けは、語用論的強化の可能性が考えられる。

本稿では、終助詞化した「し」をブログという限られた領域の文章（書き言葉）において考察したが、実際は話し言葉でも頻繁に用いられている。話し言葉による事例は今後の調査を待たねばならないが、筆者の直接聞いた事例から以下に4例を挙げる。

〔マスメディア（テレビ放映）の例〕

(58) オッサン、飲んでるし。

2007. 07. 16放映「名探偵コナン・スペシャル」コナンが酒を飲んでいるおじさんを見て独り言。発話はこれで完結し、次の場面に移った。

(59) 急にそんなこと言われても困るしー。

2008. 9. 27放映。コアラテレビ「ポケットモンスター」ムサシ（成人女性）が年配男性に「結婚を前提につきあって」と言われ、急にコギャルに変身してそれっぽくいう。「やっだー。うそ、まじー。急にそんなこと言われても困るしー。でもー、ミニリュウくれるっていうんだらちょっとマジ入っちゃってもいいかなーとか思ってみたりとかしてみたりなんかしてー、って感じー。」アニメ製作者が意図的にコギャルの表現を典型化させてみせたのであろう。

〔筆者が直接遭遇した例〕

(60) ディズニーランドなんて関係ねえし。

11歳女子。2008. 6. 12収集。なぜ公共施設などで子供が無料なのかという話題で、子供のために提供されるサービスには料金を支払うという内容に、聞き手が「ディズニーランド」と例を挙げたあとの発話。発話者は、その直後、聞き手に背を向けて歩み去り、それ以上話題を展開させる意志をもたなかったことが注意される。談話はこの発話で終了した。

(61) 知らないうちにウィンドーショッピングみたいになってるし。

11歳女子。2008. 6. 27収集。母と大型ショッピングセンターでプールバッグを選んでいる時。母には視線を向けず、母に言っているようでもあり独り言のようでもあった。

筆者が話し言葉に関して集めた情報は、少ないながら、文章における終助詞化した「し」の機能と共通する点があるように思われる。文章中の終助詞化した「し」の文が、事柄に起因する話し手の心理的内容を推論させ、事例によっては感情表出的になる傾向があり、聞き手に対し（言語）行動を暗に要請すること（働きかけ）に消極的なことは、話し言葉も共通する点ではないかと予測される。今後は、話し言葉での調査を進

め、終助詞化した「し」の伝達機能を中心にその全体像を捉えたい。

〈例文のテキスト（部分）〉

(3)

それにしても、一つの国ではあたりまえ、のことが、他の国では全然！ ってことって多いので、色々とアクシデントとか失敗とかあるけど、それはそれで、楽しかったりしますよね！ 中学生の時、吹奏楽部のツアーでパース（オーストラリア）に行って、そこからペンバートンに行った時にとまったロッジで… 私、壁に穴あけちゃったし…!! 南国の家の壁って、コンクリートなのですよ。冷たく固い、コンクリート、まんま。寒い国じゃ寒くなりすぎちゃうけど、どうせ常夏なので。なので、キーク！ の練習ができるぐらいに、固いのです。日本の壁の方が、そこまで固くないですよ。それが、さらに、オーストラリアのそのロッジは、どうやら壁の中が空洞になってて、それがヒーティングシステムになってるってことだったのかな？ ペラペラの壁の間に空洞になってて… それを知らなくて、キーク！ したら、見事に、穴が開いてしまったのです…。

<http://islay.exblog.jp/7299187/>2008.7.13

(4)

で、気を取り直して、
「うちもカレーにしようっと！」と、茄子をゲッツして、

調味料のコーナーで、カレールーを選んでみると、
また、さっきのオバチャンがトコトコと隣に現れた。

オバチャンは迷わず「こくまろ」を手にして去っていった。
アタシは、「ジャワカレー」をゲッツ。

とゆうワケで、夏と言えばカレーだろ。

オバチャン天使（天使にしちゃったし）に助けてもらった、今夜の我が家は
茄子並びに他の野菜たっぷり、ひき肉も買い置きがあったので、
「夏野菜のカレー」に決定。 なかなか美味しかった。

<http://keiko-voyaki.jugem.jp/?eid=553>

2008.7.20

(5)

あれ？ 鍵があかへん！ 誰か鍵穴にいたずらしたな

(13)

暗闇で手元が見えにくいのですが、手の感覚からするとどうしても鍵が
まっすぐに入らないようです。

おかしいなあ え？ え〜??

鍵の先曲がってるし…

ダンナ！ 私の鍵に何をした!!

<http://qmy.blog.so-net.ne.jp/2007-10-24>

2007.10.24 (2008.8.4)

(6)

そして。。いよいよ今日は7~16時勤務!

お昼っからはたった一人で戦わなくちゃならないのよ!! ♪(ー)オイ
ってか、それよりも電話が鳴っちゃうし〜〜!

(-▽-) ハッハッハ

<http://blog.goo.ne.jp/akumatan/e/9707b29a97014ff1135216ef528f2b0c/> /2008.7.7

【引用文献】

秋元実治 (2001) 『文法化 —研究と課題—』英潮社

伊藤勲 (1988) 「し」の用法『紀要』13、国際学友会日本語学校

今野照幸 (2008) 「接続助詞の終助詞的機能について」日高水穂 (編) 『秋田大学ことば
の調査』第4集

梅田望夫 (2006) 『ウェブ進化論』(ちくま新書582) 筑摩書房

Ohori, Toshio (2000) Framing Effects in Japanese Non-final Clauses: Toward an
Optimal Grammar-Pragmatics Interface, In Matthew L. Juge & Jeri L. Moxley
(ed.). *Proceeding of the twenty thierd annual meeting of the Berkeley Linguistics
Society, February 14-17. 1997*

大堀壽夫 (2002) 『認知言語学』東京大学出版会

大堀壽夫 (2004) 「文法化の広がり」と問題点』『言語』33-4 大修館書店

大堀壽夫 (2005) 「日本語の文法化研究にあたって—概観と理論的課題—」『日本語の研
究』1-3

グループ・ジャマシイ (編) 『日本語文型辞典』くろしお出版

国立国語研究所 (1951) 『現代語の助詞・助動詞 —用法と実例—』秀英出版

小林幸江 (1994) 「接続助詞「し」の文論的考察」『東京外国語大学留学生日本語教育セ
ンター論集』20

謝福台 (2006) 「接続助詞「シ」の意味・機能」『日本語・日本文化研究』16 (大阪外国
語大学日本語講座)

- 張素芳 (1994) 「接続助詞「し」の用法と意味」『文芸研究』135 (日本文芸研究会 東北大学文学部国文学研究室内)
- 寺村秀夫 (1984) 「並列接続とその影の統括命題 —モ、シ、シカモの場合—」『日本語学』3-8
- 日本語記述文法研究会 (編) (2003) 『現代日本語文法4 第8部 モダリティ』くろしお出版
- 野田春美 (2002) 「第8章 終助詞の機能」『モダリティ』(新日本語文法選書4) くろしお出版
- P. J. ホッパー・E. C. トラウゴット (2003) 『文法化』九州大学出版会
- 堀池尚明 (1999) 「「シ」を用いた原因・理由表現について」『筑波日本語研究』4、筑波大学文芸・言語研究科日本語学研究室
- 前田直子 (2005) 「現代日本語における接続助詞「し」の意味・用法 —並列と理由の関係を中心に—」『人文』4 (学習院大学人文科学研究所)
- 森田良行 (1984) 『基礎日本語3』角川書店
- 米川明彦 (2006) 「若者ことば研究序説」『言語』35-3 大修館書店

- 1 グループ・ジャマシイ (編著) (1998: 135)
- 2 国立国語研究所 (1951)、寺村 (1984)、伊藤 (1988)、張 (1994)、小林 (1994)、堀内 (1999)、前田 (2005)、謝 (2006)、中俣 (2007)
- 3 管見の限り2002年ブログの書き込み「あいつ、キモいし。」が早い。
- 4 筆者は都内の大学生及び千葉県内の小学生に使われているとの報告に複数接している。筆者が直接聞いた実例は、「5.まとめと今後の課題」を参照。
- 5 一般的な文章に比較して以下のような特徴がみられる場合が多い。
 - ①比較的文が短い。
 - ②文毎に改行し、行間が広い。
 - ③顔文字、(汗) (笑)などを文末に付加する。ギャル文字を用いる。
 - ④写真や絵の貼り付けを文章中に用いる。
 - ⑤若者ことばを用いる (省略語、強調語、擬音語・擬態語など)。
 会話体やや近い文体である (挨拶言葉、呼びかけ、感動詞、終助詞など)。
- 6 若者ことばとは、中学生から三十歳前後の若い男女が仲間内で娯楽・会話促進・連帯・イメージ伝達・隠蔽・緩衝・浄化などのために使う。規範からの自由と遊びを特徴に持つ特有の語や言い回しである。その使用や意識は個人差がある。(米川明彦 (2006: 20))
- 7 このような印象は、話し言葉における実例とも一致する (5を参照)
- 8 「推論集約的」とは、単なる時間上の継起や項目の並列ではなく、理由のように背後の事情についての推論を積極的にはたらかせる作業を含む意味関係である。(大堀 (2002: 130f.))

(15)

- 9 張 (1994 : 60) 「し」は基本的には二つ以上の事柄を列挙する表現である」、謝 (2006 : 63) 「シの本質的な意味・機能「並列」から (後略)」、前田 (2005 : 134) 「し」の本務と考えられる「並列」の機能」。